

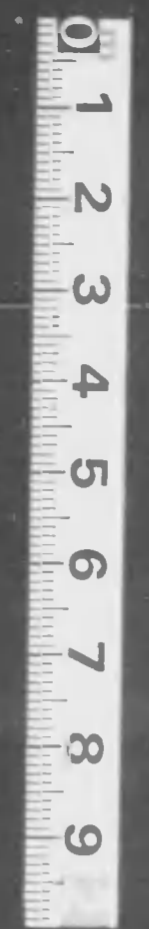
情 報 局 編 輯

二 月 十 九 日 第 五 十 六 號

寫 眞 週 報



新 設 子 報 會 常





中國大使館正門

三年目に開かれた扉

嶺新駐日中國大使着任す

青天白日旗を掲げる嶺大使



下右、活版に事務を開始した館内
下左、抄参した三千冊の圖書の整理

新國民政府駐日大使蔣民誼氏は二月五日隨員と共に新
装成つた東京麻布の大使館に着任した
昭和十三年八月前駐日許大使が淋しく日本を去つて以
來二年六ヶ月、新しい主を迎へて固く閉ざれた鐵扉は
今こそ晴々と押し開けられ和平建國の青天白日旗は東京
の春空高く掲げられた

スタビ

錠

研理

B₂

ンミタビ

體合復

慢性胃腸疾患

結核
虚弱質
に

財団法人 理化學研究所製

一〇〇錠 二・五〇
三〇〇錠 七・〇〇
九〇〇錠 二〇・〇〇

肝臓より抽出し、濃厚にして消化吸収良好なり
胃腸機能を整調ならしめ
豊富に含有するフラビン
及B₂の酸化解毒作用は、
結核菌の毒作用抑止・榮
養補給の効を挙げ、結核
症状の好轉、腺病體質の
健康化を齎す。
又酒害・糖害等にも、そ
の卓効を認められる

阪大・京東 店商 置玉 社會式株

泰・佛印調停會議 進む

東京

東京

八紘一宇の大理想の下に東亞共榮圈確立の指導的地位を中外に宣揚、世界史に輝く一頁を加へる泰・佛印國境紛争調停會議はサイゴン洋上の歴史的停戦會議の後を継ぎ、二月七日内閣總理大臣官舎に於て日・佛・泰三國委員隨員全員出席の下に初會議を開議した。松岡外務大臣は調停にあたり帝國政府の責任と決意を披瀝すればワラワン泰國全權、アンリ・佛蘭全權から、夫々深甚なる感謝の答辭あり、極めて友好的な空気のうちに第一次公式會合を終つた。



調停會議に先立ち二月七日午前十時から外務大臣官舎に於て議事進行に關する三國事務總長の打合せが開かれた。前列右から泰國タウイ、日本齋藤、一人おいて佛印ゴーチエ各事務總長が差廻しの飛行機に搭乗、相ついで帝都入りをした。泰・佛印兩代表は六日午後天々外務大臣官舎に松岡外務大臣を正式訪問、來朝の挨拶をのべた。

右から松岡外務大臣、セナ駐日泰公使、ワラワン殿下、サストラム全權長、松岡代表

右から松岡代表、ロベン代表、アンリ・佛蘭大使、松岡外務大臣



松岡外務大臣の挨拶に對する泰國代表ワラワン殿下の答辭(右)と佛蘭代表アンリ大使の答辭(左)



二月七日總理大臣官舎に開かれた第一次公式會合の席上、泰・佛兩代表を前に松岡外務大臣の挨拶





入坑の時も出坑の時も坑夫達は坑口に配られた山神様の前に頭を下げる。一日の仕事に幸あれと祈る姿、意なく一日の仕事を終えて謝する姿、何れにもしろ私を滅して山に歸一する姿である。山と山で働く人々が深く結ばれた衣。この精神のあるところ又、安心して明日の増産も期することができるとだ

石炭へ いま増産の 動員令

●全国石炭増産強調期間
昭和十六年 七月 全産
自月 至 月 学生省

林立する巨大な煙突から日夜間断なくけ出される黒煙、重要物資を運搬して間断なく

運送しつづける列車、一切の近代工業を維持するの源泉として日増えることなく煙々と増えつづける石炭。石炭こそは国防力の最も重要な源泉といべし。されば石炭の消費量はその國の国力のバロメーターだといはれるが、アメリカの年四億噸に對してわが國は僅かにその四分の一にも及ばないといふことである。この石炭の増産こそは戦時下日本の最大緊急事ではない。その産出力が直ちに国防力に影響するわけであるから、その増産のためには資力と人力の限りを盡してこれに當らねばならない。今やわが精銳戦士達は一息も休まず國の念に燃え一山一坑の情熱と精神の下に晝夜休みなく石炭増産に拍車をかけ、その努力の結晶たる黒

煙を掲げてゐる。なほ十割増産を目指して力強い躍進を續けてゐる。しかしこの三割といひ十割といふ増産は決して易々となし進められるものではない。原料の不足、人的資源たる勤勞者の不足を克服し、指導者から採炭人、選炭婦連にいたるまで一山一家の精神に統一し、銃後第一線の戦士たる自覺のもとに地底數百尺、焦熱の現場に誇々と努力する姿はむしろ非壯なるものがある。建設かければ羽がのびる、のびる切羽が國のため、坑夫達が仕事の余暇に口ずさむ炭坑おしの文句さへかつては「主のため」とか「金のため」とうたはれたのがいつか國のためと改訂されてゐるのだ

人坑だ。一本のロープに吊られた人串に乗り込め、まっすぐに坑底を下りて多量な炭を今日も「つ」と心に響かせる彼等の頭上には「出せ石炭」の文字も明るく掲げられてゐる

もよいが、今日はこゝを要旨として一説もあつても自覚の仕事を責任の大きさをかきしひしと身に感ぜられ、坑夫達の情熱。その情熱に燃えさせた戦線が燃える



握つた腕に力を込めればエヤドリルのは突端はググツと眞黒な炭層に突きささる。切羽(採炭作業場)は男の戦場だ
撮影 菊池 俊吉



地下數百尺、焦熱の地底に今日も又賑々と増産の熱気が打ちこまれスコップが響く。つや／＼と光る炭塊、すくつては入れるスコップの柄が汁で濡れる。「俺らは、これで八派だぞ」
坑内は間断なく生産の営みを續ける。ポンプはその原動力の一つだ。排氣に、通風に、地下水の排出に、冷水の供給に、大小のパイプを通じて穿む坑内の肺臓、このポンプが働く限り作業は増産へまっしから





↑ 一日の仕事を経て坑口を出てくる坑夫達の表情は輝きにみちてゐる。心ゆくまで備いた満足と、楽しい家庭生活の中に歸つてゆくよるこび、労働の苦しさを癒やし明日の力を増すものは家庭生活をおいては他にないのだ。



⇒ 増産運動は単なる労働の強化ばかりであつてはならない。むしろ一面に明らかな娯楽があつてこそ一層運動の効果も上がるのだ。大日本産業報編集から労働問題部がきた。すでに満員の会場になほ陸續とつめかける坑夫々々の家族達。



↑ 雖然と建てられた集住住宅の中では明らかな秩序ある生活が営まれてゐる。増産の第一條件は先づ人だ、採炭第一線に働く労働者を得ることだ。そのためにはかうした施設も完備されなければならない。

⇒ 舞臺の上までぎつしりと詰めかけた観客期々と流れる節まはしに恍惚と聞き入る。



⇨ 老人も子供も女も男も、どつと笑ひさめくこの笑ひに一日の疲れを忘れ、明日の新しい力が湧いてくるのだ。かうした自分を忘れて楽しむ時間があつてこそ労働も増産も生々と續けられてゆく。



石炭へ
いま増産の
動員令

↑ 『石炭増産強調期間』の幕を仰ぎ、朝夕に一山を守る山神社の神前に心から増産を誓ひ、且つ祈る人々。眞摯に眞剣に増産闘士は努力を注ぎつけてゐる。

↓ 眼の前を、あとからあとからと絶えまなく流れてゆく石炭の流れ、選礦場の騒音の中に草手をはめた少女達の手が閃いて石がどん／＼と捨てられる。

⇨ 一つかけでも大切な石炭だ、積みこばれ石炭もかうして女達の力で營々と積み上げられてゆく。



青島の今日この頃

新國民政府の遅い成長に足並揃へ、こゝ青島の街もいよ／＼生氣溢れと建設の歩を進めておますが、青島最近のなごやかな一面を御傳へしませう

こゝでも中國の子供たちの間には日本語熱が大變なものです。街を歩いてみると、道の角々、お寺の門前などで子供たちは二人三人と日本語本を膝の上で一心に読んで日本語を勉強してゐます。日華が仲良しになるにはまづ日本語を覚えなければといふわけですね

この寒空に閉つてゐる中國人たちは温かい手を差し伸べようと、このほど青島ドイツ人俱樂部婦人會が主催で慈善バザーが開かれました。会場はドイツ人俱樂部で、婦人會員たちが心をこめて作った手藝品や家庭用品などは多數集まつた日獨伊華市民らに買ひとりられ、賣上金は全部氣の毒な中國人たちに贈られました

お天氣のよい日は頃の節まはしも長閑かに姑娘たちの洗濯がはじまります

撮影 青島報道寫眞研究会



タイ・佛印の紛争調停

大東亞其榮團の確立へ

昨年十一月末以来二月に亘つて戦つてきたタイ・佛印間の國境紛争が、わが國の居中調停によつて終止符を打ち、これらの國々が手を携へて大東亞其榮へと進むことになりました

タイと佛印との國境紛争の起因は、極めて古くまた複雑であります。フランスが安南國から支那支那を割譲させたのは一八六二年(文久二年)のこと、翌年にはカンボジヤをその保護領とし、一八八四年(明治十七年)にはトンキン地方への保護權を安南に認めさせると共に、安南國を自體もフランスの保護國としました

これに對してタイ國(當時のシャム國)も、安南を隔く態勢をとつたともいへませんが、フランスは一八九三年(明治二十六年)メコン河東岸のタイ領を占領し、ラオス地方の保護權をタイ國から獲得しました。その後一九〇四年(明治三十七年)にはメコン河西岸のムアン・アラバシ地方を佛領とし、更に一九〇七年(明治四十一年)にはカンボジヤの沃野は全くフランスの版圖に歸したのでした

かすりにフランス勢力の押迫によつて、暹羅邊境のやむなきに至つたタイ國は、常に失地回復の熱に燃えてゐたので、ことによつて一九三二年以来國政の改革に邁進し、ピアン首相の下に國力伸張の

機會を得、携へてゐるうち、今度の歐洲戦争の勃發となり、フランス本國が敗退するや、タイ國はこの好機を捉へて立ち上つたのです

これよりさき、昨年の六月、タイ國とフランスの間には不可侵條約が調印されましたが、タイ國側は容易に批准を行はず、フランス政府はたび／＼この批准を催促してゐました。ところが九月の十三日になつてタイ國側はこの批准の條件として、かねて兩國の間で争つた前となつてゐるメコン河中の島の所屬の決定と、ラオス方面の國境線とメコン河の河流に變更すべきことをフランス側へ要求したと發表しました

このタイ國の舊領上返還の要求に對してフランス政府は拒絶の回答を送り、兩國の關係は大第に悪化して、遂に十一月二十三日以来カンボジヤ、ラオス地方の國境數ヶ所を兩國軍隊の小競合が起り、續いて兩軍の正面衝突、空爆の襲撃となり、事態は深刻化の一途を辿つたのでした

この間暹羅が外交交渉による平和的解決の曙光が傳へられました。具體的な折衝はなかく開始されました。これには、皇國がタイ國の危境しをしてゐるからといふやうなことも傳へられ、西南太平洋の情勢も關照して、

佛印の國境紛争を減る某々の暗躍が次第に活発となつてきました

しかしタイ・佛印の兩國は共に東亞其榮團の構成員であります。この兩國が互いに相争つてゐるといふことは、東亞其榮團の指導者たるわが國が到底無關心に看がし得ないことです。そこで一月二十日、松岡外務大臣からフランス、タイの兩國に對して戰闘行為の即時停止と居中調停に關する帝國政府の提議を正式に申入れたところ、兩國政府はいづれも快くこれを受諾しました。そして一月二十九日の午後五時からサイゴン沖の帝國軍艦の上で停戰交渉が開始され、三十日には早くも完全に意見の一致を見、三十一日停戰協定調印の運びとなりました。續いて二月七日からの東京におけるタイ・佛印紛争調停會議となつたのです

御承知の通りタイ國は、フランスと英國の軍力に抗して獨立を續けてきた南方唯一の獨立國です。昭和八年の滿洲事變に關する國際聯盟總會のとき、議場に留つて獨り前然と東權を聲明したのは同國です。昨年六月、わが國とタイ國との間には友好中立條約が調印され、十二月二十三日がシムラで批准交換を終り、兩國の親善關係はますます緊密を加へてゐます

一方佛印は、支那事變勃發以来最も重要な後方ルートでしたが、ヨーロッパの情勢急變と共に佛印の支那國境閉鎖、中東の佛印進駐となり、現在わが國との間に東京でははつと日佛會議が極めて友好的な空氣の中に進められてゐます。これはフランスが世界の新情勢と東亞其榮團の

態を認識したためであると考えられます

東亞其榮團の構成員であるこの兩國が、わが國の調停申入れを受諾し、和平解決へと進んだことは、大東亞其榮團における日本の指導的地位を如實に示すもので、東亞における永遠の平和、延いては世界の平和に寄與するものとして、誠に意義深いことでもあります

大東亞其榮團の確立といふことは、わが國の根本方針ですが、これは単に東亞だけのことでなく、歐洲では獨逸、北方ではソ聯、西半球ではアメリカ、そして東亞では日本といふやうに、安定勢力を中心として、各、自給自足の生活圏を作つて行く傾向は、いまや世界史における歴史的必然であるといへませう

今度の調停における帝國外交の方針は、大東亞其榮團内の諸邦に各、その所を得させ、共存共榮の實をあげるといふ、わが國是に基いてゐます。萬邦各々、その所を得しめるといふことはわが國の大理想であり、大東亞其榮團の建設を目指し支那事變も、實にこの大理想を目標に戦つてゐるのです

わが國のこの眞意が、南方の兩國にはつきりと認識され、これらの國々が大東亞其榮團の構成員としてきたり投じ、相携へて大東亞其榮團の建設、大東亞其榮團の確立へ邁進することになつたことは、東洋の平和、延いては世界平和のためには誠に喜ぶべきことでもあります。と同時にまたわれ／＼日本國民は、指導國家としての責任のます／＼重大となつたとをひし／＼と感じます



陣中作品

短歌

大別山崎嶇と續く野を兵等置て今日も歩みぬ
 長期戦奮闘の間に手いれず野菜もふと行かぬ
 (中) 水原部隊 山崎嶇

いとさなる音を思ふに父母に便や書かむ
 (中) 山崎嶇 山崎嶇

高き女兵も存座の列にあはれおぼつかたけに歩む
 (中) 大津部隊 山崎嶇

輪廻と長蛇のごとく兵糧の今日もつゞきて山河越へ
 (中) 河野部隊 山崎嶇

大君の御願之書等はこらしく椰子の葉に御旗
 (中) 山崎嶇 山崎嶇

煙草なし刻みて紙に巻きてふ松の落葉はほろに
 (中) 大津部隊 山崎嶇

白壁にかけ濃くおとし柘榴の實のつづき實の
 (中) 土師部隊 山崎嶇

陣中は宿の方向と隊長の號令遠く聞にひびきぬ
 (中) 山崎嶇 山崎嶇

併句

俄爾無名部落の小休止
 (中) 水原部隊 山崎嶇

水仙花さ、け清らや馬の碑
 (中) 水原部隊 山崎嶇

掃蕩の火焔ゆ五月の閑遙か
 (中) 水原部隊 山崎嶇

晴れ切つて宜撫の町の日草旗
 (中) 水原部隊 山崎嶇

月ながめ一人中支の歩哨線
 (中) 水原部隊 山崎嶇

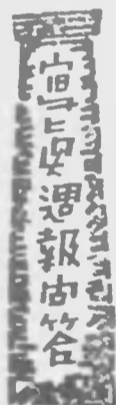
地固になき寒秋の村に友散れる
 (中) 水原部隊 山崎嶇

歩哨立つ低き軒端のキャンナかな
 (中) 水原部隊 山崎嶇

戦友の髪息かそかや月蒼く
 (中) 水原部隊 山崎嶇

夕焼けや唄ひ出したき野天風呂
 (中) 水原部隊 山崎嶇

やま突へて群羊光りをはなちけり
 (中) 水原部隊 山崎嶇



問 居中調停とはどういふことか (大津)

答 居中調停といふのは國際間に起つた紛争を解決する方法の一つであり、まず紛争国(第三國)自ら交渉または口頭陳述によつて直接に談判に關與し解決を促すものなり。通常自ら調停案を提出し紛争當事國がこれを受諾すれば目的を達したことになるが、元來、居中調停は難告にすぎないもので、紛争國がこれを受け容れざる場合は自由であります。この調停國は難告以上の行爲に用て紛争國の意思に反して自己の意見を強制しようとするは干渉になるので、若しこの難告が容れられない場合は居中調停國の職務は終止するのです。

今回の案、佛印間の紛争をわが國が平和的に解決しようと試みたのはこの一例であります。

問 今度労働者年金保險制適用を受けるにはどんな資格か要るのでせうか (大津)

答 一定範圍の工場、鐵山または交通業に属してゐる労働者を強制的に保險に加入させ、その者が老齢に達して退職した場合または不慮の災厄によつて廢疾となり、或は死亡した場合に、年金または一時金を國家から支給し、本人及び遺族の生活の保障を圖らうとするのがこの労働者年金保險制度であります。この被保險者には強制被保險者、任意被保險者、任意繼續被保險者の三種があります。

強制被保險者とは健康保險法の適用を受けてゐる工場、鐵山、交通運輸業等に常時十人以上の労働者を使用してゐるものに使用されてゐる労働者、この保險に加入する義務があります。但し女子労働者や臨時使用の労働者その他特殊の事情がある者は、強制適用を受けないことになつてゐます。

任意被保險者とは強制適用を除外された工場、鐵山等に使用されてゐる労働者や、女子労働者であつても事業主の同意を得て申請すれば任意に加入することが出来ます。

次に十四年以上被保險者であつた労働者が被保險者になつた後、一定期間内に申請することによつて被保險者たる資格を繼續することが出来ますが、これを任意繼續被保險者といひます。

文部省推薦圖書たより

☆ 大津 太陽の子供 (全五冊) (大津)

この繪本は田舎の子供の生活を描いたものであり、大津の生活の樂しさが十分感じられる。田舎の子供達だけでなく、都會の子供にも有益な本である。(大津) (大津)

☆ 大津 海のこと (大津)

この繪本は美しい海の風景の中に、盛んに活躍してゐる健康な子供達を描いたものであり、書かれてゐる詩とよく調子が合つてゐるので、子供が繪を眺め、詩をみて十分に理解が行くよい繪本である。(大津) (大津)

☆ 大津 ひろがる雲 (大津)

この本は三部作であつて、『ひろがる雲』は滿洲大陸に話をつつてをり、大陸の子供たちと知らせるのに役立つ本であり、『雲』は普通の童話が三十四ほど収められてゐる。また、『ふるさとの繪』は北海道のアイヌの話や、動物の話が三十一ほど収められてゐる。小學校五年以上の兒童向けの讀物としてお奨めしたい。(大津)

紀元節の朝

宮城前廣場



聖戰下第五年紀元二千六百年の紀元節は漸く春めいた二月十一日絶好の奉祝日和の下に意欲深く迎へられた。この日午前九時鳴り響くサイレンを合圖に一億國民はこぞつて、奉祝の黙禱を捧げ、全国各地各團體はそれ／＼建國祭をくりひろげて、神武天皇御創業のいにしへを偲び奉り、太平洋上波濤々超非常時局下に時艱克服國威宣揚の決意をいよく強く胸に誓つた。



『全報』の旗印も旗幟と靖國神社に詣でる豆武者たち

宮城前に無窮の皇運を壽ぎ聖壽の高歳を祝する民衆の赤誠



くめらひてしと備に風来旅之思聖——式命開ふ誓と闘敢筆眞

會大育體民國宮神治明 回一十第 祝奉年百六千二元紀

場技競躍飛な麗華壯男

手選風柔の刷制技脱久耐



道海北 會大季冬

紀元二千六百年奉祝
 第十一回明治神宮國民
 體育大會冬季大會は二
 月四日から九日まで雪
 の北海道で華々しく行
 はれた
 はじめて津軽海峡を
 越えて札幌市に迎へた
 聖恩之旗の下に集ふ千
 五百の冬の精鋭は、こ
 の六日間を眞摯敢闘、
 皇運の彌栄を願へ、理
 進民族の意氣と熱を發
 揚して、スキー競技は
 札幌、小樽の兩市に、
 スケート競技は苫小牧
 町の各地に熱戦駒の
 豪華繪巻を繰り展げた



ちた士勇の陸海ふ争を闘つなを譽名の隊部各に争競候斥



手選黒伊者勝優躍飛純——ぶ飛を空てせかきを切踏の意得



役出の速競米萬一子男



技妙の(位二)續岡月の滑型子女





獨機空襲の尻ぬぐひに馳けまはる
ロンドン消防隊の昨今



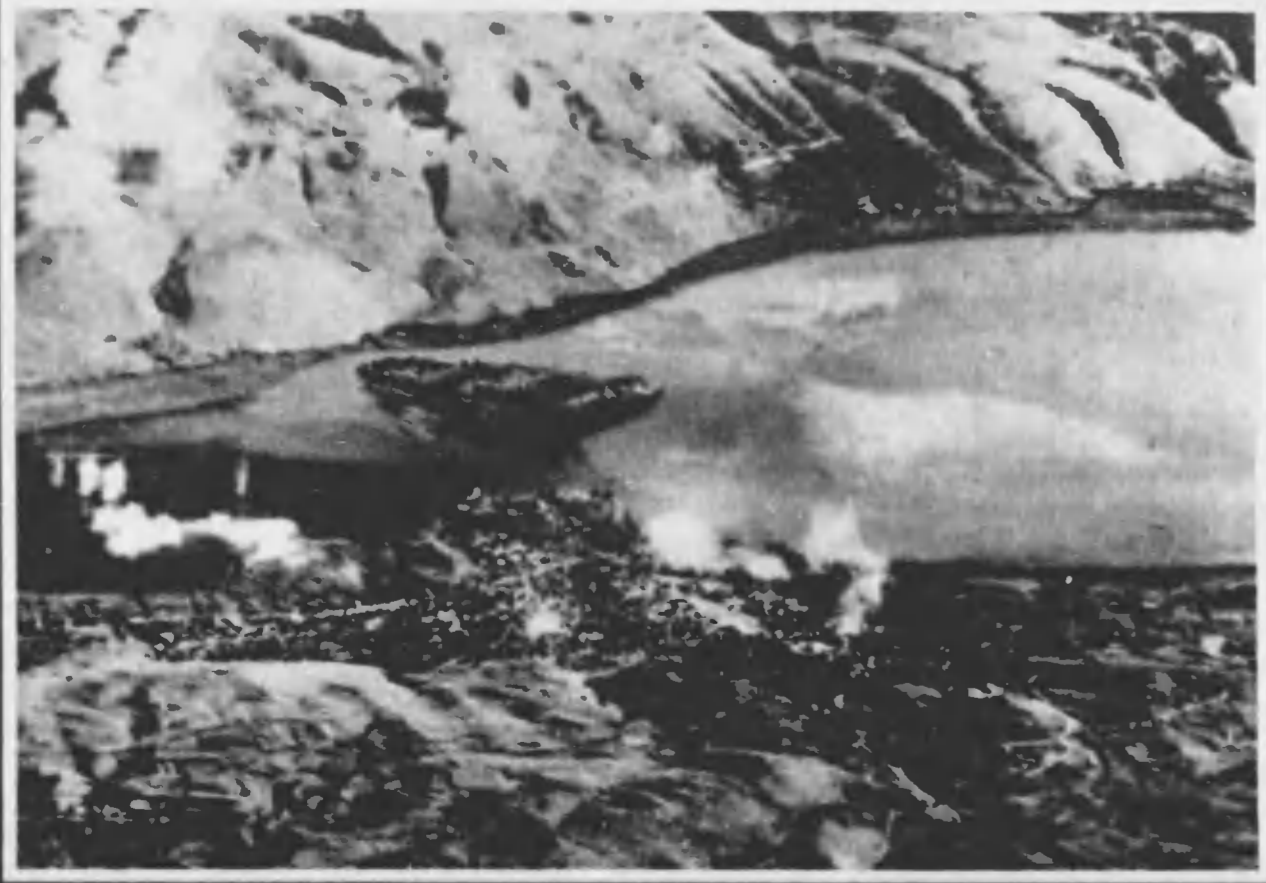
ロンドンの消防隊本部は爆撃から安全な地下敷十尺の場所にある。この本部地下室には三千臺の消防自動車と消防隊の配置を示す大なる地圖が壁面を全部占領してゐる。本部の交換室に火災の報告が入ると直ちに市内に分散待機してゐる女子補助消防隊の中継で指令が各消防中隊に發せられる。(女子補助消防隊は現在では五千名にのぼつてゐる)

一方、去年のクリスマス明けの十二月二十九日、航空軍の思もつかぬ猛烈な空襲があつてからは、男子の防火監視隊も續々動員され、遂にロンドンの消防組織は戦争勃發前の十數倍に増強された。即ち戦前二千五百人だつた消防隊は三萬人になり、消防署も一等消防署が五十九、二等消防署が三百六十も出来てゐる。

ロンドン消防區司令官はアイルマ・ニュートン・ジョーヂ・ファイヤブレス海軍砲兵大佐であるが、舊曆以來ニューヨーク消防隊から視察に来た

三人のアメリカ人消防士が有力な助言者の役を買つてゐるといはれる

寫眞は 右下・一齊に砲列を布くロンドン消防隊の消火演習 右上・舊曆二十九日、獨機空襲に見舞はれたロンドン中心街の慘狀(ロンドン・ニューヨーク電送) 左上・ロンドンに向ふ獨逸降下爆撃機



□ イタリア軍の奮闘

永遠に不滅な料理人の國民たるを欲せず敢然地中海の主人となるべく立ち上つたイタリア軍はギリシヤと東アフリカの兩戦線に敢闘を注ぎつけてゐる。歐洲新秩序が齎されるまで、スエズ運河を死守しようとするイギリスとの間に喧嘩か

喧はれるかの死闘が展開されるのはむしろ必然のことであらう

寫眞は 上・一點の線もないリビヤ沙漠に振張したテントで野營するイタリア軍歩兵部隊。中・ベンガジ附近で測定器を操作する高射砲隊。下・イタリア空軍のギリシヤ、ジャナ港空襲

海外通信

寫眞協會

割増金附

支那事変

貯蓄債 支那事変
國債 債
券 券

一枚十円五

青出二月二十一日

三月十日



大藏省
日本勧業銀行

東京新聞

昭和十六年三月十日

内閣印刷局印刷發行

（郵便物としてA4規格定規はさみと大のきき）